

令和7年度 放課後等ディサービスくじらぐも
保護者様による事業所評価結果（公表）

令和7年11月

回収率：100% (回答数 23/配付予定数 23)

No.	チェック項目	はい	分からぬない	いいえ	ご意見ご質問	ご意見を踏まえた工夫又は改善目標
環境・体制	子どもの活動のスペースが室内外で十分に確保して支援を行っている	23			・近くに広場もあり思い切り体を動かしたり、室内も充分なスペースがあると思います。	
	専門的に考えられた支援の仕組みと提供を行っている	23			・専門的な先生もいらっしゃるので安心です。	専門的な支援をしっかりと視覚化した上で、児童指導員、保育士、作業療法士等有資格者の職員ならびにチームワークの配置をもって支援にあたらせてもらっています。
	事業所の施設設備は、こどもたちの支援のために十分考えられた設備になっている	23				
適切な支援の説明と提供	支援の内容、利用者負担等について説明を受けている	23				
	保護者様事前記述の（こどもプロフィール）なども含め、子どもと保護者様のニーズや課題と一緒に考え「協力」した上で、個別支援計画が作られている	23			・6か月ごとに子どもの成長、難しい点など振り返りができる、家族での向き合い方の反省がでている。 ・じっくり話をきいてくれ、子どものことを一生懸命に考えていただけています。	保護者様との共同作業として子どもの成長につながるよう機会をつくっている。
	個別支援計画を元に支援が行われている	23				
	子ども達が楽しみながら成長につながるような活動や関わり方の工夫をしてもらっている	23				
	他の児童施設等や、一般の方との交流する機会の提供をしてもらっている	23			・夏休み時に工場見学など普段できない活動もあり、楽しんでいる。	今年は、夏休みに3企業の協力を得て工場見学を行っています。今年から畑をお借りし、地元の人に教わりながら野菜作りなどにも取り組んでいます。またお菓子の販売を通して一般の方とのふれあいも作っています。
	くじらぐもは親子、ご家族で成長していくための学びの場であり、ご家族の子育てが少しでも行いややすくなるためにお互いの「協力」が大切だと考えている1つのサポート施設ということを理解している	23			・親子プログラムに参加し子どもへの気付き、子どもに対しての声のかけ方など学んでいます。	普段の事業所が取り組んでいる活動を親子で体験、感じれるよう機会を作っている。
	くじらぐもへのお子様の利用は <u>仲間作りの練習</u> が基本目的であり、活動の際に、個別の課題を要因として起こる出来事を保護者と共有し、課題にどう向き合うか「協力」して成長を促す施設だと理解している	23			・活動であったことを話してもらい、それについて家でも本人と話をすることで、気持ちに整理がつくと思うし、一步前進につながるとおもいます。	家での振り返り、子ども理解・子ども自身の自己理解につながるように、今後も理解ノートを活用しながら情報共有しながら協力していきたいと思います。
	子どもの成長のためには私達大人の「子ども理解」、子ども自身の「自己理解」が大切だということを理解できる	23				
非常時等の対応	子どもの成長のためには「出来ることを（応援）していくこと」「難しい面に関しては（一緒に協力・方法の提案）」を意識して行い努力することが大切だと理解できる	23			・でききたことをほめるということがあまりできていないように思うので心がけていきたいです。	できる・できないではなく、やるか・やらないかのチャレンジの部分を保護者様と一緒に協力・応援しながら伝えていきたいと思います。
	子ども理解ノートを中心に積極的な情報共有（協力関係）の上、くじらぐも・ご家庭双方で子どもたちと関わることが支援効果を上げることにつながると理解できる	23			・ノートがあることで、家の子どもの会話の幅も広がり、家の様子を知ってもらえるのでとても大事だと思います。	
	子どもたちの安全面にに関する備えや定期的な避難訓練など（訓練・研修）の実施状況を知る機会がある	23			・家では訓練することがないので子どもも知ることができています。	・活動プログラムの中に夏・冬2回に分けて行っています。火災を想定した避難訓練及び、水難訓練の1つとしてライフジャケットを着用して川遊び活動を行っています。
利用を通しての評価	子どもは楽しみにくじらぐもに通っていると感じる	23			・様々な活動やイベントがあり楽しめている。 ・安心して通っている。	・こどもたちの気持ちには波があり、全員が楽しんで通所しているとは限りませんが、今後も出来るだけ多くのお子様が楽しみながら自己理解が出来ていくよう支援に努めて行きたいと思います
	くじらぐもと一緒にやり取りを深め「協力」出来ていると感じる	23				
	子どもの言動に対する「捉え方」や「関わり方」に気付けるような、場の提供（親子プログラムなど）や情報提供や交換をくじらぐもはしている	23			・親子で楽しめるプログラムを考えていたい	
	「子ども理解」を深める「気付き」がある	23				
	親子プログラムなどにより保護者同士の繋がりの場の提供も考えている	22	1		・毎回いろんな内容の親子プログラムを考えてくださってます。	今年は定番の味噌づくり、初めての芋ほり体験など行っています。今後も繋がりが作れる親子プログラムの機会を提供していきたいと考えています。
	子どもや保護者からの相談や申入れがあった場合に親身に対応してもらっている	23			・友達関係等、何かあった場合にすごく親身に対応していただけています。	引き続き、相談に対して親身に対応していきたいと思います
	個人情報の取扱いに十分注意している	23				

【ご感想】

①いつもありがとうございます。

【ご感想に対する返答】

①感謝の言葉ありがとうございます。今後とも職員一同協力しながら「協力・応援・提案」を柱に子ども達の支援を行っていきたいと思います。